

社内に存在するIT資産の把握から、稼働中の自社開発アプリケーションの脆弱性確認まで BigFix と AppScan による組織全体での Log4j 脆弱性問題への対応

Log4j 脆弱性の問題は、システムやアプリケーションごとのセキュリティ対策の限界を明らかにしました。Log4j 脆弱性問題に対応するためには、組織内のIT資産全体(端末、OS、自社開発アプリケーションから市販ソフトウェアまでのすべてのアプリケーション)を把握し、影響範囲を特定し、対応できる体制が必要です。HCL BigFix と HCL AppScan で万全のセキュリティ対策を実現しましょう。

セキュリティ対策のステップと Log4j 脆弱性における課題

セキュリティ対策のステップ

可視化

Visibility



評価

Measurability

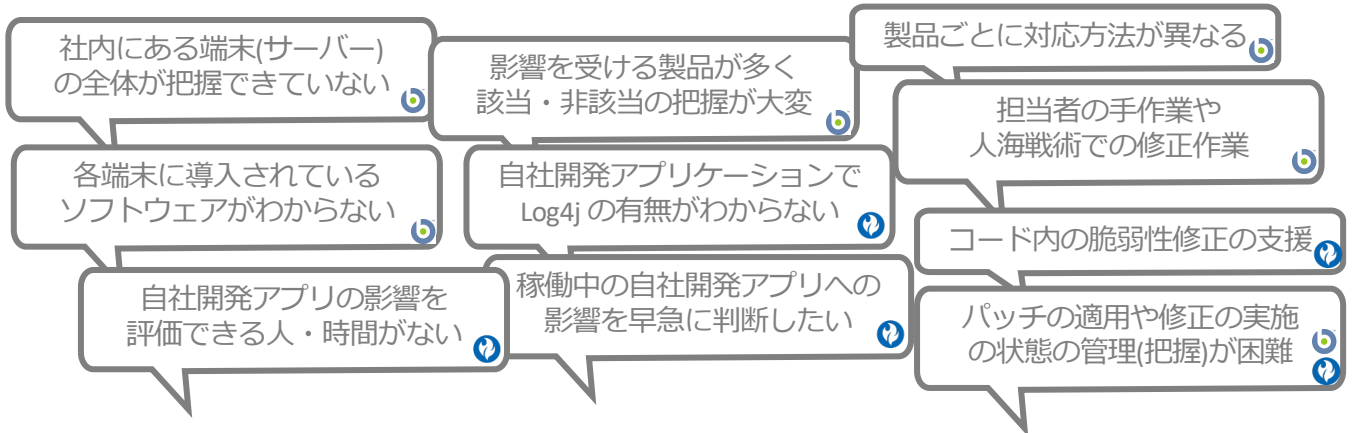


対応

Control



Log4j 脆弱性における課題



HCL BigFix と HCL AppScan によるIT資産全体でのセキュリティ対策

社内のすべての端末と状態の管理

自社開発・運用アプリケーションの脆弱性検出



- 社内すべての端末とインベントリの管理
導入されているソフトウェアなどの端末情報も収集可能



- 条件に合致する端末を抽出
ファイル名での検索など、条件に応じた影響範囲の特定



- 迅速で成功率の高い修正の配布
Push & Pull での修正ファイルの配布による確実な対応



- WEBアプリケーションの脆弱性統合管理
管理コンソールで検出されたリスクや対応の全体を把握

- 動的診断による脆弱性の検出・修正支援
リリース前、あるいは運用中のアプリケーションへの動的診断で迅速に把握、修正を支援

- ソースコードレベルでの検出・修正支援
静的診断によるソースコード診断で、早い段階での脆弱性の特定と修正を支援

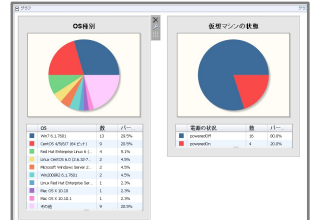
HCL BigFix と HCL AppScan による Log4j 脆弱性対応の実現



統合エンドポイント管理ソリューション

- 社内の全てのエンドポイント(PC、モバイル、サーバー、クラウド)とOS、導入ソフトウェアの可視化
- 定義ファイル、エージェント、ネットワーク制御の組み合わせによる確実なパッチ・アップデート適用

- 1 社内のすべてのエンドポイントと状態をリアルタイムに把握**
エージェントが収集した各端末の情報を管理コンソールで確認 (右イメージ)
- 2 影響を受けるエンドポイントを検出**
定義ファイルを配布し、Log4j を含むアプリケーションが存在する端末を特定
- 3 修正ファイルの配布や設定変更の実施**
条件とアップデートがセットになった定義ファイルの展開により確実に効率的なアップデートを実施



HCL AppScan

アプリケーション脆弱性診断ソリューション

- 動的診断(DAST)、静的診断(SAST)、構成分析(SCA)、対話型テスト(IAST) の全てが可能な脆弱性診断
- 開発初期からのセキュリティテストから管理・レポートまで、開発プロセス全体での脆弱性対策を実現

- 1 動的診断(DAST)により稼働中のWebアプリケーション/サービスの脆弱性を迅速に検出**
本番環境・テスト環境上のアプリケーションに擬似攻撃を行いLog4j脆弱性を検出
- 2 静的診断(SAST) + 構成分析(SCA) によりソースコードから脆弱性を確実に検出**
オープンソースアナライザーにより開発者も把握していない Log4j の使用を検出
- 3 組織での管理とレポートの実現**
自社開発アプリケーションを棚卸し、分析と対応の状況を管理します (右イメージ)



HCL BigFix と HCL AppScan のカバーする範囲



→詳しくは HCL ソフトウェア または、BigFix, AppSan ビジネス・パートナーまでお問い合わせください

